

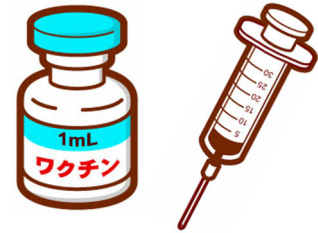


## 令和2年度補正予算 第4号 可決

小林やすお

新型コロナウイルス感染防止に関係する緊急予算として、議会に審査を付されました議案3本の内、インフルエンザ予防接種について報告致します。

- 1、 介護施設等 PCR 検査実施
- 2、 全庁 LAN の運営
- 3、 **インフルエンザ予防接種 無償化**



新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行による医療体制のひっ迫を防止するため、**60才以上65才未満の方と妊娠中の方を対象**にインフルエンザ予防接種の費用を全額助成するための予算。

千代田区ではすでに、生後6か月から18才までと65才以上の方についての予防接種は無償としてありますので、先の「補正予算第3号」の付帯決議として議会は「区民の不安払拭のため、予防接種を希望する区民全員に時限的に無償接種すべし」と申し入れましたが、区内医師会のワクチン供給量の問題もあり追加の無償対象者は上記の方々になりました。

## 令和元年度 決算 不認定



10/15まで議会開会中ですが、昨年度の決算審査を行う決算特別委員会では、**25名議員の内22名が不認定と判断**しました。

主な理由として「**軽井沢少年自然の家**」の管理運営については、昭和31年当時の区議会議員全員が歳費を積み立て、総額3百82万8千余円を寄付し千代田区の子供たちの為に建設した施設ですが、現在は教育委員会（区長？）の指導のもと学校利用されず、施設の利活用についても検討していない事が明らかになりました。

また、「**旧箱根千代田荘**」については区民保養施設として親しまれていましたが、区（区長？）は運営委託の条件を厳しくし、委託事業者に手を引かせたうえ、**売却したい**と議会に示しました。議会は区民の貴重な財産を売却してはならない、議会とともに活用方法を考えようと提案し数年経ちますが、区からは何も示されず現在に至っています。

皆さんに分かりやすい事例で不認定理由を記しましたが、この他に区庁舎維持管理、区長の議会解散行為に起因する教育長の委員会無断欠席では、合議体である教育委員会に諮らず独断で委員会審議を欠席など、区政は区民の為に機能していない状態であると区議会自民党は判断しました。

（※予算決算特別委員会で可決しましたが、正式には10/15の本会議にて可決・成立します）